

我ら、 レイボウ族

logo design : misao

【第22回】

詩人の詩学

古代フラダンサー
水野みさを

ノースビーチのシグさんを通して詩人アレ
ン・ギンズバーグに出会った 1990 年頃、NY
に行く際「ギンズバーグに電話しなさい」と
シグさんに電話番号を手渡された。NY に着
き、恐るおそる電話すると氏はご在宅でし
た。何の理由もなく訪ねてきた私にジャス
ミン茶を煎れてくださりお土産まで頂いて、よ
し、次に来る時は明確な理由を持って氏を訪
ねようと心に誓ったのだった。

1993 年 8/8、その機会は訪れた。

当時、ギンズバーグ氏は 40 年間撮りた
めたスナップショットを写真集にしたり、写真
展を開き、文学や社会活動の観点から星の数
ほどインタビューされてきたギンさん(失礼
ながらギンズバーグ氏をこう呼ばせて頂き
ます)を、私は詩と写真についてインタビ
ューしてみたいと思った。

真夏の午後、向日葵の花と握ったおむすび
を携えて訪れると、徹夜明けのギンさんはお
味噌汁を作っているところで、一緒にランチ
することからその幸運なインタビューは始
まった。以下は、日本の

『Switch』
誌(1994.7
月号)に掲
載された
私の文・写
真「スナッ



チベット仏教の祭壇前で瞑想するギンズバーグ氏→

(10) 名前のない新聞 No.226 / 2021 年 11・12 月号

プッシュ・ポエティクス」より抜
粋。

黒くペイントされた古びたドア
を開けると、細長い廊下が寝室につ
ながり、廊下を左に入るとキッチン
になっている。みやげに渡した向日
葵の花を花瓶に活けて、彼は写真集
で馴染み深いあの窓辺に添えてく
れた。ニューヨークの夏にしては、
過ごしやすい日の午後一時。全開に
された窓から心地よい微風が入り、
鳥のさえずりが聞こえる。徹夜で朝
五時まで本の推敲をしていたとい
う彼は、これから朝食の味噌スूपを
作れどもと断って、アパートの中を
案内してくれた。(略) ウォルト・
ホイットマンの一葉の絵がかかっ
たキッチンに戻ると、彼はもう味
噌スूपを仕込んでいる最中だった。
すり鉢の中できちんと味噌をとか
すその作法に驚嘆すると、「これは
日本の放浪詩人ナナオ・サカキ
からの直伝なんだ」と教えてくれ
た。

---詩と自分との関係、そして写真と自分との
関係はどういうものでしょう？

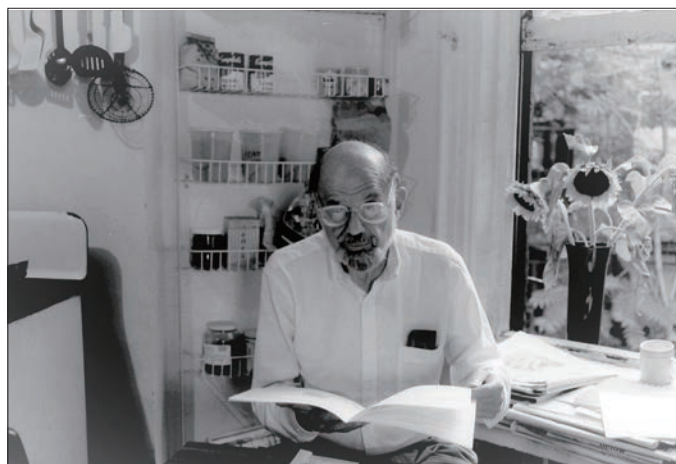
「とても似ている。詩は、何か現実のことを書
くこと。外界の事象物を自分の目を通して見
るもの、聞こえるもの、匂い、嗅覚、触感を
描写することで、写真も同じことだ。私の写
真に、ケルアックやニール・キャサディや僕
の恋人たちが多く登場したように、私の詩に
も彼らのことを書いたものが多い。ある詩は
夢を絵にしたものであり、夢の中に浮かびく
る視覚イメージや映像シークエンスを描写
したものだ。詩は言葉で夢を映像化すること
ができ、言葉で夢を写真にすることができ
る。写真は、日常空間や平凡な窓を写すこと
ができ、同時にその窓について詩を書くこと
ができるのだ。

以前「スナップショット詩学」という詩撰
集(アンソロジー)を作り、詩と写真との類似
性を示そうとしたことがあるんだ。写実派の
詩はとても視覚映像的だよ」

---あなたが尊敬する詩人は、ウォルト・ホイ
ットマン、ウィリアム・ブレイク、ウィリアム・カ
ルロス・ウィリアムス(3人共Wで始まる)と、
エズラ・パウンドに…

「それにチャールズ・レジニコフと、カール・レ
コシーを尊敬している。彼らは皆、1910-40
年代の写実、客観主義派とされる詩人たち
だ。実際に知り合いになった人もいる。おも
しろいことに、彼ら全員が視覚文字としての
漢字に興味を持ち、蕪村、一茶、芭蕉とい
った俳句の一派に惹かれていた」

---ところで、1959 年にロバート・フランクが
ビート・ジェネレーションについて撮った短
いドキュメンタリーフィルムは、あなたの詩
「ブル・マイ・デイズ」をタイトルにしまし
たね。で、詩集を見ると、ケルアックとあな



↑キッチンの窓辺で仕事中的ギンさん

たが詩を共作した初編と、その後ニールが加
わり、三人で共作した改編が入っていますが、
あなた方三人が言葉のお手玉でもするよう
にその詩を作ったんですか？

「それはこんな作業の繰り返しで始まったん
だ。

Pull my daisy tip my cup

Cut my thoughts for coconuts

と僕が書いたものをジャックが持ち帰り、こ
う書き足してくる。

Pull my daisy tip my cup

All my doors are open とね。

三人で共作したやつは、当時 NY34 番街の駐
車場で働いていたニールにジャックと僕が
会いにいき、即興でそれぞれが用意してきた
一行四語を交換しあった。例えば、僕の
What's the hex? に対し、ジャックが
Where's the wake? と言い、僕が What's
the hoax? と応える。そこでジャックと僕が
ニールにこの三行を言って聞かす。するとニ
ールが How's the hex? と返す。単なる言
葉遊びだよ。音のね」

---あなたにとって、詩の大切な要素とは？

「詩は、何かが起きた後で僕の思考を記憶に
とどめておいてくれる。詩に大切な要素は、
初めに閃いた思考を信頼すること (First
thought, best thought)、ナマのままの心
(Primordial mind)、平常心 (Ordinary
mind)、そして脈絡のなさ (Discontinuity)、
ホットドッグのことを考えた直後に写真の
ことを考え、次の瞬間には向日葵の花のこ
とを想い、その直後に般若心経のことを考
えている。マインド・コラージュ、マインド・タ
ピストリー」

---詩を書くことも写真を撮ることもあなた
にとってメディテーションと言えますか？

「そうだ。心の充足感(mind-fullness)だ」

---それは自己を忘れることですか？

「いや。自己は家具の一つのようなものさ。窓
のようなものだ。忘れる必要はないよ。詩は、
事象物を客観的に、明瞭に、静観(Clear see-
ing)することが大切だ。それは写真にも言
える。マインド・フォーカスが大切なことなん
だよ」

あいとへいわ